

タイトル：広島県警「特殊詐欺被害防止キャンペーン！」にソフトバンクと共同参加
県内の特殊詐欺被害総額約 7 億 8,288 万円（2023 年 11 月末時点）、前年同期比 22% 増への歯止めを目的

BB ソフトサービス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：草川 和哉、以下 BBSS）は、2023 年 12 月 21 日、広島県内のショッピングモールにて広島県警察（以下、県警）が主催するキャンペーンイベント「詐欺被害は電話から！電話でブロック 特殊詐欺被害防止キャンペーン！」（以下、本イベント）にソフトバンク株式会社（以下、ソフトバンク）と共に参加しました。



開催概要

日時：2023 年 12 月 21 日午後 2～4 時

場所：ゆめタウン広島（1 階ウエストコート）

参加団体：ソフトバンク株式会社（BB ソフトサービス株式会社）

広島県警察（警察本部・広島南警察署）

西日本電信電話株式会社中国支店

株式会社 N T T ドコモ中国支社

K D D I 株式会社

広島市役所

本イベントは、県警とソフトバンクをはじめとする通信事業者 4 社が相互に連携し、特殊詐欺の被害を防止することを目的とした協定（以下、本協定）を、2023 年 11 月 10 日に締結したことに基づく活動の一環として開催されました。

参考：ソフトバンクニュース

https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20231117_01

広島県内での特殊詐欺による大変深刻な被害状況を背景に締結された本協定に賛同し、BBSS はソフトバンクと共同で、BBSS が開発販売するネット詐欺対策製品「詐欺ウォール」の認知促進、およびフィッシング詐欺などのネット詐欺の啓発活動を実施しました。

また、本イベントの参加者へその場でネット詐欺に関する意識アンケートにご協力いただきました。その集計によると、スマートフォンやパソコンにネット詐欺対策を実施していない方は全体の 56.5%でした。実際にネット詐欺被害に遭ったもしくは遭遇したという方は 8.7%で、フィッシング詐欺に遭遇した方のお話を聞くこともできました。今回は実際に被害に遭った方の具体的なお話を伺い、改めてネット詐欺の脅威は身近に存在することを実感しました。

※有効回答数：23 件

BBSS はネット詐欺被害ゼロ社会を目指し、ネット詐欺対策ソフト「詐欺ウォール」によって検知・収集した詐欺サイトの分析やノウハウを活用して、情報発信やセミナーなどのネット詐欺啓発活動を行っています。今後もサイバー犯罪や情報セキュリティに関する啓発活動を通じて、より多くの方々に関心と必要な知識を習得していただき、ネット犯罪被害の防止に貢献してまいります。

▼BB ソフトサービス株式会社について

ソフトバンクグループの一員として、セキュリティ製品を主軸とするソフトウェアサービスを、ISP や携帯電話会社などの通信事業者を通じて提供しています。サービス提供のみならず、フィッシング対策協議会やその他の社外団体を通して情報セキュリティに関する啓発活動にも積極的に取り組んでいます。一般消費者のサイバー犯罪被害を減らし、より

よいインターネット利用環境を全てのユーザーに提供することで社会貢献を果たしてまいります。

<会社概要>

社名： BB ソフトサービス株式会社

所在地：東京都港区海岸1丁目7番1号 WeWork 東京ポートシティ竹芝

社長： 代表取締役社長 兼 CEO 草川 和哉

設立日：2006 年 1 月 17 日

株主： SB C&S 株式会社 100%

事業内容：ブロードバンドを利用したコンシューマー・SOHO 用アプリケーションサービス、およびオリジナルアプリケーションサービスの企画・開発・販売・運営

URL： <https://www.bbss.co.jp/index.html>

<お問い合わせ先>

BBSS 広報事務局

担当：池谷、阿彦、建部

bbsspr@bbss.co.jp